公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION
https://www.kagawa-isf.jp

［ 成功への道筋が見えて来る！かがわの産業界の今をお届けする ］

かがわ産業情報21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

2021 vol.81
7
年4回発行

TOP NEWS

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」最優秀賞受賞者インタビュー

特 集

香川県よろず支援拠点の常設サテライトを2か所増設!!

かがわ産業支援財団が創業者の夢を開業までサポート 令和3年度「かがわ創業塾」を開講します

かがわ発！元気創出企業

「株式会社富士クリーン」
地域への「感謝」を忘れず
アットホームな企業風土を強みに
自分たちにしかできない
チャレンジを

TOP NEWS 理事長が行く

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」最優秀賞受賞者インタビュー

公益財団法人かがわ産業支援財団　安松理事長が、「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」で最優秀賞（事業名：技＋技＝無限）を受賞されました、TASUKI-Int. の代表の森本　理恵さんを訪ね、最優秀賞を受賞された時のお気持ちや、今後の展開についてお聞きしました。

事業概要

伝統工芸を生業としている職人の方々が抱える後継者問題と今後の行く末の不安、直面させられる「廃業」。そうした状況を打破したいという思いから、伝統工芸品を現代の生活にマッチさせた今まで見たことのないような組手弁当箱、スツール、組紐などの新しい商品の提案を行い、海外に向けて販売する仕組みを作る事業を展開します。

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」最優秀賞を受賞

森本さんがデザインされた洋服

組手細工

高松市番町にあるTASUKI-Int.

安松理事長

森本 理恵さん

理事長： TASUKI-Int.のTASUKIは「足す木」だということですが、駅伝の時の襷、つまり、人と人とを繋ぐ、そういう意味も込められているのかなと思いました。

森本さん： そのとおりです。最初はこの組手細工を何とか世の中に合う形に置き換えたいと思っていて、生活に一つ木を足すということで「足す木」だったのですが、伝統の技をずっと次世代まで続けていくという意味でも襷も掛けました。

理事長： この度は、かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ最優秀賞受賞、誠におめでとうございます。早速ですが、受賞された時のお気持ちをお聞かせ願えますか。

森本さん： その時は、ファイナリストとして会場にいました。最優秀賞が発表された時に、事業名が「技＋技＝無限」なのですが、自分と分かりませんでした。最後のインタビューで一番足が震え、受賞の後に壇上で挨拶した際、何を言ったのか覚えていないほどでした。

理事長： 驚かれたのですか。

森本さん： 驚きました。まさかと思いました。ファイナリストになれても最優秀賞受賞者になるというのは、ハードルがとても高いのではないかと思っていました。だから初めてのチャレンジで受賞できるわけがないと思っていたのです。

理事長： 改めて事業の内容について教えていただけませんか。

森本さん： 簡単にいうと、伝統工芸士と伝統工芸士を繋ぎ、コラボして伝統工芸士一人ではできないもの、技を2つ合わせて、3つ合わせて、今まで見たこともないような商品を作ろうと計画しています。また日本では販売しないと決めていて、企画会社の協力を得て、海外のみでの販売を考えています。魅力的だからといって日本、海外の人の両方に売ろうとすると、今のネット社会では、世界

CONTENTS

2021年7月 vol.81 発行（年4回発行）　かがわ産業情報21 7

【トップニュース】～理事長が行く～
「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」最優秀賞受賞者インタビュー …… 1
【特　集】
香川県よろず支援拠点の常設サテライトを2か所増設!! …… 3
かがわ産業支援財団が創業者の夢を開業までサポート
令和3年度「かがわ創業塾」を開講します …… 4
【支援事例紹介】
新かがわ中小企業応援ファンド等事業　支援事例の紹介 …… 5
香川県プロフェッショナル人材戦略拠点　支援事例の紹介 …… 6
【財団の活動】
～新かがわ中小企業応援ファンド等事業～
「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」令和3年度の支援対象事業が決定しました …… 6
【財団からのお知らせ】
～新かがわ中小企業応援ファンド等事業（令和3年度後期事業）～
「新分野等チャレンジ支援事業」及び「withコロナ対応支援事業（販路開拓枠）」を募集しています!! …… 7
令和3年度 商品化技術テーマ調査事業募集のご案内 …… 8
第29回『芦原科学賞』の募集について …… 8
開放特許を経営に活かす!!「知財マッチングセミナー」を開催します …… 8
知的財産を経営に活かす!!「かがわ知財経営塾」を開催します …… 9
「中小企業等外国出願支援事業」（外国出願補助金）の募集のお知らせ …… 9
「海外冒認商標係争支援事業費補助金」を募集しています …… 9
令和3年度 高度産業人材育成事業（IT研修）のご案内 …… 10
国際取引相談のご案内 …… 11
機能性表示食品 支援案内 …… 11
新規開放設備機器「分光測色計」のご紹介 …… 11
令和3年度「かがわ成長する企業大賞」候補企業を募集します! …… 12
【かがわ発！元気創出企業】
地域への「感謝」を忘れず
アットホームな企業風土を強みに
自分たちにしかできないチャレンジを
株式会社富士クリーン …… 13

中で日本での価格を見ることができるようになります。そうなると、日本では安く売られているのに、何故海外ではこんなに高く売るのかと疑問に思われてしまいます。実際は、関税がかかるから、日本の売値の3倍ぐらいになってしまうのですが。そういったことを防ぐため、日本では販売しないということを考えています。

理事長： 逆に海外から日本に輸入することは考えていますか。

森本さん： 同じ値段で販売することを考えています。日本のみで販売するよりも粗利率が上がると思いますので、そこで出た利益を次の事業の準備や伝統工芸士の育成等に使おうと考えています。次々とやりたいことがあり、ここは入口です。

理事長： 今回の事業の目的や、事業名の「技＋技＝無限」に森本さんが込めた思いを教えてください。

森本さん： 組手障子の技は、家業の森本建具店で夫の技を365日ずっと見ていますが、それでも私の分からない技術があり、何気なくしていることでもすごいことがあります。またうちだけでなく、他の伝統工芸士の皆さんが何気なく作っているものでも、他の人には真似できないものがあります。そうした工芸品同士がコラボしたらどういったものができるのか、私が一番わくわくして作ってみたくなりました。今までは伝統工芸士同士の架け橋になる人がいなくて、一人の伝統工芸士がデザイナーと一緒に商品を作ることはありましたが、コラボの仕組みはありませんでした。今の50～60歳代の伝統工芸士は、他の伝統工芸士を受け入れる柔軟性を持っていて、コラボを好む傾向があり、そういった話をしても、すぐ受け入れてくれます。

理事長： そういった考え方をお持ちなのは、森本さんのご主人がされている組手障子の世界に入られたからなのでしょうか。

森本さん： 私の元々のルーツはアパレルで、組手障子の世界にはアパレルに関するものがなく、作れるものを作ろうとしていなかったのが許せなかったので、イヤリングやカバンを作り始めました。女性目線のものがあるほうが世の中が楽しくなると思います。ただ単に障子ばかり作っていても、それではこれから生き残れない。技術は残さないといけないという思いは根底にあります。洋間が増えて障子の需要が少なくなっても、技術は残しておかないと、古民家などでの修理ができなくなりますので。今は辛抱して、技だけは残す形で、生活の中にあるカバンなどに置き換えていく必要があると思っています。

理事長： かがわビジネスモデル・チャレンジコンペのプレゼンテーションの資料を拝見しましたが、その中で印象的だったのが「使われないのは『物』であって、『技』ではない。だから私達は『物』を変える」というお言葉です。今回、お話を伺ってよく分かりました。技というのは、ずっとこれからも繋いでいかないといけません。ただ、技で作っている物については、少しずつその時代において変えていくことも必要だと思います。

森本さん： そうなんです。ただ皆そこに気づいていないのです。

理事長： 少し話は戻りますが、これから事業計画を進めていく中で、困ったことや課題はありますか。

森本さん： 私が最優秀賞を受賞したことを広く知っていただけた一方で、「技＋技＝無限」が一人歩きしているように感じています。「技」というのは、伝統工芸の本物の技のことを指しているのです。意味を少し取り違えている方も来られることが増えました。きちんと自分の目で見て、伝統工芸としての技を持っている人を見極めないといけません。「技＋技＝無限」がどこまでの人を受け入れるか、見えない試練だと思っています。いい経験になりました。

理事長： もう一つ、いろいろとコラボレーションした讃岐のり染のスツール、組紐、組手弁当、つづれ織などを作って海外に展開されるという中で、どうしたらよいのかと悩むことはありますか。

森本さん： 京都の西陣つづれ織とのコラボを計画していましたが、つづれ織の価格がとても高いことに悩んでいます。今は切り替えて、組紐、のり染など形が見えているものから作っています。

理事長： これから事業化していく上で、どのようなものとコラボしていくのかが、一つ課題になるということですね。また海外での展開、販路開拓はいかがですか。

森本さん： 海外販売を軌道に乗せることが一番ですが、その後は、商品を購入してくださった方に対する組手のキット販売を考えています。組立て前のバラバラの状態で、YouTubeで配信する組立方法を撮影した動画と一緒に販売し、自分で組み立てられるようにします。そうすることで、ものづくりの繊細さや楽しさを知っていただきます。いずれは作家さんに会いませんかということで、日本に来ていただくことも計画しています。

理事長： とても遠大な計画ですね。期待しています。これから起業や創業をしようと思われている方に森本さんからアドバイスやメッセージがあればお願いします。

森本さん： 今まで内に秘めて、不言実行を美徳としていましたが、そうではなく、言わないといろんなご縁が来ないことが分かりました。実現できるか分からない壮大な夢までも皆に話しています。夢ではありますが、話したほうが、実現するにしても早道になると思っています。もしかすると、実現できないかもしれませんが、誰かが次に実現するときにアドバイスができるかもしれません。私の組手細工の商品は変わっているから、どう着ければいいのか、自分の持っている服に合わない等の意見があり、以前アパレル業界にいたので、商品に合うように服を作り始めました。その結果、違うルートから、服を縫えるのであれば障がい者の若い方の服を作れないか、という依頼をいただきました。若い子の服で今、何が流行っているのか、雑誌などを見て調べています。私がアパレル業界で仕事をしていたと周囲に伝えておくことで、そういう話をいただくこともあります。

理事長： やはり外に発信するということが大切ですね。

森本さん： 周りに言うことで思いもよらないところからのお話もいただくということをすごく実感しています。夢なので叶う、叶わないは別としても、今思っていることを言ってみると何かが見えてきます。

理事長： それはいいお話ですね。自分の夢、思いを外に出すことによっていろいろな人との繋がりができて、またそこからネットワークができるのかもしれませんね。
最後に、森本さんの次の夢を教えてください。

森本さん： 元々は子供の遊び場と被災時の避難所にしようと思っていた志度にある資材置き場と倉庫を建て替えて、海外の方が作家さんに会いに来られる時に利用する宿泊施設を造ろうと考えています。この宿泊施設は、伝統工芸を体験できる場所も兼ねたものになるよう検討しているところです。子ども達が木で遊べますし、もし災害があった場合に利用できるお風呂などもあります。海外の方が来られた際に、その施設に泊まって志度や三豊に行ったり、そこを拠点にいろいろな伝統工芸士を訪ねることができればと思っています。その宿泊施設では、伝統工芸品の実演、体験ができるようにし、伝統工芸の技で壁や布団など、香川のもので埋め尽くされるといいなと考えています。

理事長： 今日はいろいろなお話をありがとうございました。これからますますご活躍されることを期待しております。

安松理事長と森本理恵さん

特集 I

香川県よろず支援拠点の常設サテライトを2か所増設!!

香川県よろず支援拠点では、経営、創業、商品開発、補助金活用などをはじめとした相談業務を行っており、さまざまな業種の事業者や起業を考えている方など、たくさんの方々にご利用いただいています。

令和3年4月から、常設の相談拠点（常設サテライト）を新たに2か所開設し、事業者様にとって、より身近でご利用いただきやすい相談体制を構築しました。また、拠点本部（香川県産業頭脳化センタービル内）及び常設サテライト以外にも、コーディネーターによる出張相談が行えるサテライトを県内5か所に設置しておりますので、経営のお困りごとがございましたら、分野にかかわらず、よろず支援拠点やお近くのサテライトをお気軽にご利用ください。

創業・起業サポート	中小企業診断士等の専門家が創業プランや資金計画などをお手伝い。	販路開拓・商品開発	段階に応じたマーケティング支援、新商品の開発など幅広く支援します。
経営相談	経営理念、経営戦略、事業承継など経営に関する相談をお受けします。	補助金活用・支援機関	有効な補助金の活用や、課題に応じた他支援機関などのご紹介。
金融相談	資金計画、資金繰り表の作り方など金融に関するアドバイスを行います。	IT・デザイン・広報	チラシデザインからITまで幅広く支援。PRや広報のノウハウも伝授。

3つの常設相談所・5つの出張相談所で相談可能！

よろず支援拠点3つのポイント

総合的・先進的な、経営アドバイスを提供
様々な分野の専門家が、色々な角度から一歩踏み込んだアドバイス

皆様のための、課題解決チームを編成
あなたの経営課題に合わせた専門家チームで課題解決へ全力投球

課題に応じた、ワンストップサービス
皆様のどんなご相談もワンストップで解決

〈チーフコーディネーター〉
矢野 稔洋
【経営改善・経営戦略】

■常設拠点・常設サテライト（土日祝休み）

香川県よろず支援拠点　本部
●高松市林町2217-15　香川産業頭脳化センタービル2階

〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉
梅澤 秀樹	**小笠原 大知**	**柴田 直美**	**島谷 美保**	**筒井 恵**	**鶴見 伸之**
【金融・事業承継】	【財務分析・資金調達】	【創業・施策活用】	【IT導入・HP構築】	【事業再生・事業承継】	【人事労務・行政書士業務】

Setouchi-i-Base常設サテライト※月曜定休日
●高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー　タワー棟4・5階 情報通信交流館内

〈サブチーフコーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉
新開 勝之	**川西 健雄**	**渋谷 信人**	**竹内 哲也**	**谷川 由紀**	**藤田 仁美**	**松尾 隆志**
【理念・コンセプトの構築・利益分析】	【IT利活用・WEB活用・ECサイト】	【地域商品開発・店舗開発】	【商品戦略・販路戦略】	【人事労務・人材活用】	【海外販路・マーケティング】	【経営改善・経営戦略】

中西讃マルタス常設サテライト
●丸亀市大手町二丁目4-11　丸亀市市民交流活動センター（マルタス1階）

〈サブチーフコーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉	〈コーディネーター〉
豊田 浩伸	**川上 実**	**藤村 靖治**	**水本 規代**	**三宅 孝治**
【商品開発・販路開拓】	【経営計画・組織開発・業務品質】	【財務管理・現場改善】	【IT活用・生産管理】	【プロモーション・販売促進】

共通予約電話番号　本部　☎087-868-6090

■サテライト（出張相談所）　※毎月1～2回程度開催

●東かがわサテライト	東かがわ市役所2階 相談室	TEL：0879-26-1276（東かがわ市 地域創生課）
●小豆島サテライト	小豆島町役場本館1階 打合室	TEL：0879-82-7021（小豆島町 商工観光課）
●まんのうサテライト	まんのう町商工会館1階 相談室	TEL：0877-73-0122（まんのう町 地域振興課）TEL：0877-73-3711（まんのう町商工会）
●三豊サテライト	三豊市危機管理センター1階 三豊市商工会（インバルみの）	TEL：0875-73-3012（三豊市 産業政策課）
●観音寺サテライト	観音寺市役所内相談室	TEL：0875-23-3933（観音寺市 商工観光課）

香川県よろず支援拠点の所在地・お問い合わせ先

香川県よろず支援拠点
〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.087-868-6090　FAX.087-869-3710　MAIL. yorozu@kagawa-isf.jp
※香川県よろず支援拠点は、公益財団法人かがわ産業支援財団が実施機関となって運営しています。

2021：香川県よろず支援拠点での支援事例について

テーマ　「来店」「対面」しない楽しみ方 発想の転換から生まれた『ハイブリッド』方式

相談者　ワインとお食事のお店 旭屋（有限会社ディンカム）

代　表　木内 千恵美 様　高松市瓦町1丁目9-25　TEL.（087）836-9101

昨年は、新型コロナの影響を受け、来店されるお客様が数名からゼロの日もありました。テイクアウトで乗り切ろうと奮闘していましたが、お客様とのコミュニケーションが最も大切ですので、オンラインでお客様とつながる方法がないか相談したところ、既成概念を打ち破る『ハイブリット式（ワインを顧客の手元に届け、同じワインをリアルに楽しみながら受講できる）スクール』の提案を受け、期限付酒類小売業免許を取得し、「来店」、「対面」せずにワインを楽しんでいただくワインスクールを実施することができました。このスクールは、お客様に好評をいただきましたので、今後はこの取組みを生かし、この時揃えたオンライン用機材を活用して、店内のみならず県内の様々な場所からワインの良さを発信したいと考えているところです。

時短営業による前例のない事態に戸惑いましたが、支援施策の活用や情報発信などの支援をいただけることはとても心強くありがたいものです。これからも支援を続けていただきながら、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

支援のポイント

- コロナ感染拡大の中、前向きに取り組もうという経営者の意思の尊重
- 自社の強みを活かした新しい取組み
- SNS発信等による広報支援

特集Ⅱ

かがわ産業支援財団が創業者の夢を開業までサポート

令和3年度「かがわ創業塾」を開講します

公益財団法人かがわ産業支援財団では、香川県からの補助を受け、県内での創業を支援する「かがわ創業塾」を毎年開催しており、令和３年度の「かがわ創業塾」については8月10日（火）から開講します。

「かがわ創業塾」では、講義を通じて創業に必要な知識やノウハウを体系的に習得しながら、先輩創業者との交流や、創業計画書を実際に作成していくカリキュラムを通じ、創業したい方の夢が形になるよう応援します。講師は、中小企業の経営相談に対応している経営・マーケティングなどの専門家等で、相談事例も交えた実践的な講義を行います。そして、塾開催中だけでなく、終了後もこれらの専門家等が無料で相談に対応するなど、創業に向けて当財団が万全のサポートをしていきます。参加費は無料となっておりますので、ご興味のある方は、是非一度お問い合わせください。

1 これまでの開催状況

「かがわ創業塾」は平成27年から開催しており、今年で7年目を迎えました。これまでの6年間で264名の方が受講され、159名の方が修了されています。また、本塾の受講生のうち、60名の方から実際に創業されたとのご報告をいただいています。

	1年目（H27）	2年目（H28）	3年目（H29）	4年目（H30）	5年目（R元）	6年目（R2）	期間累計
受講者数	56名	34名	53名	34名	58名	29名	264名
修了者数（全5回出席）	30名	24名	32名	18名	28名	27名	159名
創業者	9名	11名	9名	14名	17名	17名	77名

※平成 27 年は、創業塾を夏季と秋季の 2 回開催しており、表中の人数は 2 回分の合算値です。

2 令和3年度のかがわ創業塾について

日　時　令和3年8月10日(火)、20日(金)、31日(火)、9月6日(月)、16日(木)

場　所　香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室
（高松市林町2217-15）

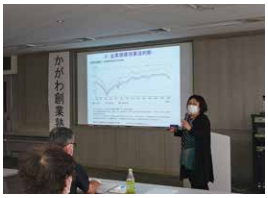
定　員　30名　（※応募者多数の場合は、選考・抽選制となります。）

参加費　無料

※受講者は、原則として、５日間全て受講してください。全回受講し、修了要件を満たした方には、起業等スタートアップ支援補助金の補助要件である「創業支援塾等の受講」を証明する修了証を発行します。

※参加時は、手洗い、手指消毒、マスクの着用をお願いします。発熱や咳等の風邪症状が見られる方は参加を控えていただきます。

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催日程等を変更する場合がありますのでご了承ください。



お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-840-0391　FAX.087-869-3710

支援事例紹介

新かがわ中小企業応援ファンド等事業　支援事例の紹介

地域資源ブランド化・販路拡大支援事業支援事例　　事業年度：令和２年度

有限会社川北縫製（さぬき市）

テーマ　**縫製技術を活用した新規レディースブランドの確立**

背景・目的

2009年にメンズブランド「CURLY&Co」を立ち上げ、国内外での取扱店舗を徐々に増やし、東京での自社店舗においても順調に売り上げを伸ばしてきたが、近年、ネット購入など顧客の購入方法が変化してきたことやブランド立ち上げから10年以上が経過し売上が低下してきたこと、縫製技術を有する人材の不足など様々な課題が出てきた。

そのため、自社販売の強化や新規顧客の獲得、企業価値の向上を図ろうと、メンズだけではなくターゲットを女性にも広げ、レディース市場において新規ブランドを立ち上げるとともに、縫製技術を次の世代に継承することを目指した。

事業内容と成果

レディースブランド「SANUA」を新たに立ち上げ、商品開発及び販路開拓に取り組んだ。

初期モデルとして、一般的なカットソーとは違う極細の糸を使用することで今までにない風合いを出し、洗練されたデザインと縫製技術力で他のブランドにはない価値観、商品を提供することを試みた。

シルエットの美しさ、素材、動きやすさにこだわって商品化するとともに、ブランドコンセプトを「Gift from The Earth（地球から生まれる自然を身に纏う）」に決定。また、「SANUA」の商品イメージを伝えるためのカタログやホームページ（https://sanua.jp）も制作した。

コロナ禍で外出の機会が減少し、洋服の需要が減少傾向にはあるが、認知度向上のためメディアへの露出を増やす工夫をし、販路拡大への努力を続けている。今後も引き続き情報発信に力を入れ、自社の主力ブランドとして成長させていく。

開発商品

競争力強化研究開発支援事業支援事例　　事業年度：令和２年度

インターマシン株式会社（丸亀市）

テーマ　**牛解体における自動背割り装置の開発**

背景・目的

現在、食肉用の牛や豚を解体する作業は自動化が進んでいる。しかし、牛の「背割り作業※1」については、牛の大きさや重量、肉質が柔らかい等の理由から、高い背割り技術を有する熟練者が手作業で行っている。

近年、背割り技術を有する熟練者の確保や育成が難しくなっていることから、顧客の要望である、牛の自動背割り装置の開発を他社に先駆けて取り組むこととした。

※1 牛や豚を解体するため体の中心で左右に分割する作業。

事業内容と成果

本事業では、牛の商品価値損失リスクをいかに抑えるかが重要であることから、「牛の背骨の直線性の確保」、「刃の振れ防止」等に対応した試作機を完成させた。

試作機の主な特徴は、次の点が挙げられる。

①切断部はバンドソー型を採用

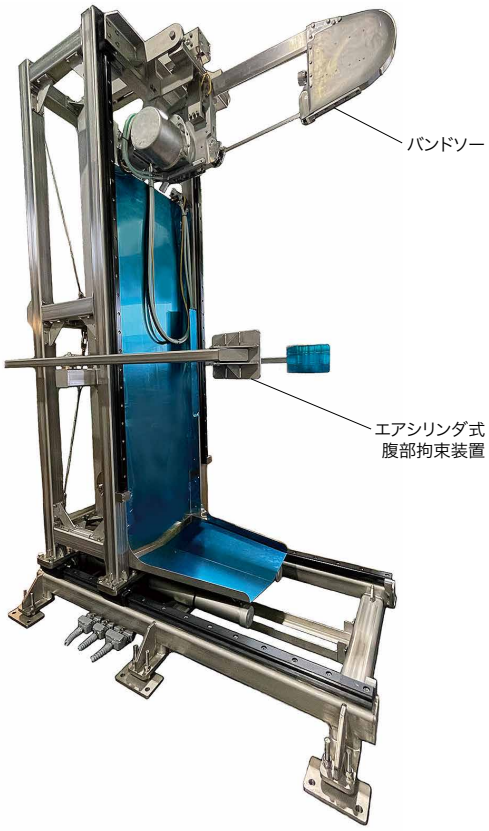
②装置動力源は空気圧を採用

③おもり調整可能なカウンターウエイト型の自重切断方式

④エアシリンダ式腹部拘束装置を昇降フレームに装着

カウンターウエイト型の採用で、バンドソーの自重にて下降しながら切断することから、牛に無理な力がかかることがなく、背骨を真っ直ぐ切断することが可能である。

今回開発した牛解体における自動背割り装置は、2022年度の製品化に向け、と畜場でのテストを行い、牛の拘束状態や背骨切断のデータ収集を実施する。また、顧客等に向けたデモを行うなど製品のPRを行っていく。



牛解体における自動背割り装置試作機

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

香川県プロフェッショナル人材戦略拠点　支援事例の紹介

香川県プロフェッショナル人材戦略拠点は、香川県から公益財団法人かがわ産業支援財団が受託し、平成27年12月に開設されました。県内中堅・中小企業の成長と地域経済の活性化を目指し、地域の産業支援機関、金融機関及び人材ビジネス事業者と連携しながらプロフェッショナル人材の採用をサポートしています。

拠点開設以降、多くの企業様から人材にかかわる相談を受け、令和3年3月までの相談件数は1,221件、成約件数は328件となっています。

このプロ人材戦略拠点活用事例は、プロフェッショナル人材を採用されました企業様の中から、具体的な内容をお聞きしたものです。

▶活用事例①　専門エキスパート人材

企業情報
- ●社名：G社　●業種：製造業
- ●従業員数：約1,400名

採用のきっかけ
過去採用したプロ人材には、優秀な人材が多い現状があり、国内競合他社の動向や、世界との競争を見据えると、技術系人材の強化は必要と考えているが、プロ人材数が絶対的に足りていない状況であるため、採用に至った。

採用した人材
【30歳代／Uターン】
プロジェクトマネージャーとして、システムのインフラ構築や、海外拠点を含めたシステム共通化等、最先端のシステム開発に携わっていた人材。

採用による効果
入社間もないが、技術者や経理のエキスパートとして、即戦力を期待している。社内とは異なる考えを取り入れるため、プロ人材採用によって得難い効果であると考えている。

企業担当者の声
▶プロ人材拠点に対して
拠点を介して、広く人材紹介会社から情報が得られる本事業は有効であると感じている。

▶人材紹介会社に対して
自社HPで直接求人を出しているが、人材紹介会社経由の場合が、人材紹介会社のフィルターでチェックされているので、信頼感がある。直接採用する場合は、相応の準備と手間をかけて実施しているので、人材紹介会社の方が効率的。仲介手数料はその対価であり、妥当なものと考えている。

▶活用事例②　現部長の後任人材

企業情報
- ●社名：H社　●業種：製造業
- ●従業員数：約50名

採用のきっかけ
業種が多様化していく中で、マネジメント（部長クラス）の交代も視野に入れていたところ、また、社員教育も十分でなかったため、マネジメント層の充実と生産体制の整備が必要という背景があり、採用に至った。

採用した人材
【60歳代／Uターン】
海外販売比率が90%を超える世界的電子部品メーカーで定年退職まで勤務し、従業員3,000名以上の工場長としてマネジメントに携わっていた。

採用による効果
生産面全般のマネジメントを担ってもらっているが、人柄が良いこともあって、指導面でも従業員に受け入れられている。

企業担当者の声
▶プロ人材拠点に対して
これまではハローワークで募集していたため、プロ人材の募集手法（情報）を全く持っていなかった。公的機関から情報を受けられて良かった。今回の拠点からの声掛けに感謝している。

▶人材紹介会社に対して
人材紹介会社は寄り添った対応をしてくれた。また、業界動向などこちらも勉強になったことを考えると、手数料は必要なコストと認識している。

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 香川県プロフェッショナル人材戦略拠点
高松市林町2217-15　TEL.087-867-3520　FAX.087-869-3703

～新かがわ中小企業応援ファンド等事業～
「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」令和3年度の支援対象事業が決定しました

公益財団法人全国中小企業振興機関協会の中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用し、県内の中小企業者が創意工夫して行う地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取り組みを支援します。

この度、令和3年4月16日から5月19日まで募集を行ったところ14件の申請があり、審査の結果、支援対象事業を次のとおり5件決定しました。

採択５件（申請14件）採択額8,516千円（助成率２／３以内、助成額2,000千円以下）

（順不同、敬称略）

	テーマ	事業者	採択額（千円）
1	東かがわの縫製技術を活用した既存ブランド「TIDE（タイド）」の、ソファー等への新展開及び、アーティスト協同プロジェクトの試作品開発と販路開拓	アーバン工芸株式会社（東かがわ市）	2,000
2	観音寺市の麦わら帽子生産技術を活用したSetouchiストローハット	株式会社島田（観音寺市）	1,999
3	豊島レモンを使った和三盆干菓子の商品開発・ブランディング・販路開拓	せとうちラボラトリー（高松市）	629
4	香川のお菓子を海外へ！	株式会社禾（さぬき市）	2,000
5	地域資源『飯南の桃』の香りと食感を最大限に活かしたゼリー商品のブランド化	有限会社宝月堂（丸亀市）	1,888

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

～新かがわ中小企業応援ファンド等事業（令和3年度後期事業）～
「新分野等チャレンジ支援事業」及び「withコロナ対応支援事業（販路開拓枠）」を募集しています!!

「新かがわ中小企業応援ファンド」を活用して、県内中小企業者が取り組む研究開発や販路開拓、生産性向上、人材育成など、総合的に支援を行っています。

この度、令和3年度後期事業として、新商品・新技術の開発や市場性を見極めるための試作品作成等に取り組む事業及び新しい生活様式に対応した販路開拓に取り組む事業を募集します。ぜひご活用ください。

募集期間 令和3年6月18日（金）～令和3年8月19日（木）17時必着

助成対象者 県内に主たる事務所・事業所を有する中小企業者

募集メニュー

新分野等チャレンジ支援事業

県内の中小企業者が取り組む新商品・新技術の開発や市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証試験などを支援し、新分野等への挑戦を後押しします。

- **助成率・額** 2／3以内、50万円以上100万円以下
- **採択予定件数** 7件程度
- **申込先** 産学官連携推進課 TEL 087-840-0338

withコロナ対応支援事業（販路開拓枠）

感染防止策を前提とした新しい日常への対応が求められる中で、県内の中小企業者が事業の継続、発展のために取り組むオンライン等を活用した販路開拓を支援します。

- **助成額** 35万円
- **採択予定件数** 6件程度
- **申込先** 取引支援課 TEL 087-868-9904

応募方法 応募にあたっては、所定の申請書と添付書類に必要事項を記載のうえ、上記の申込先に提出してください。申請書様式等は、公益財団法人かがわ産業支援財団のホームページ（https://www.kagawa-isf.jp/）からダウンロードできます。

助成の対象となる事業の決定 書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。申請者は審査会で事業説明（プレゼンテーション）を行っていただきます。

新分野等チャレンジ支援事業支援事例　事業年度：令和２年度

自然免疫応用技研株式会社（高松市）

テーマ 新規油性LPS原料を配合した油剤系化粧品“バーム”の開発

背景・目的 LPS（Lipopolysaccharide、糖脂質）は、経口・経皮で自然免疫を活性化する作用があり、現在、化粧品や健康食品に使われている。これまで化粧品用のLPS原料は水溶性の液体品のみであったが、今回、新たに油剤系化粧品に配合可能な油性LPS原料を開発した。

本事業では、この新規の油性LPS原料を使った魅力のある油剤系化粧品“クレンジングバーム”を試作するとともに、その効果及び安全性の検証を行う。

事業内容と成果 市販のクレンジングバームを参考に、低刺激、高保湿、かつ肌に付けた時「とろける触感」となるよう、試作・評価を重ね、成分や配合割合を決定した。

最終処方品では、パッチテストとスティンギングテストを実施し、安全で刺激が無いことを確認するとともに、皮膚水分量や水分蒸散量などを指標とする機能性評価を行い、良好な結果が得られた。

また、容器とデザインを決定し、最終的な試作品として完成させた。

今後、本試作品を顧客や卸売業者などに提供し、使用感などのアンケートを実施するとともに、これをリード商品と位置づけ、配合されている油性LPS原料の認知度向上を図り、販売増加に繋げる。

開発した試作品

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

令和3年度 商品化技術テーマ調査事業募集のご案内

県内の企業等が、商品化を目的とした技術テーマについて、大学・高専・公設試験研究機関等と連携して実施する場合、その調査研究費を助成する事業を募集します。

応募方法 所定の申請書様式に必要事項を記載のうえ、当財団へご提出下さい。
申請書様式等は、当財団のホームページ（https://www.kagawa-isf.jp）からダウンロードできます。

募集期間 令和3年7月2日（金）～令和3年9月3日（金）必着
※テーマの事前連携期限は、令和3年8月23日（月）までとします。

対 象 者 県内に事業所を有する企業、団体および住所を有する個人

対象事業 助成対象者が行う大学等学術研究機関または公設試験研究機関等との共同研究体制にある事業

助成率・額 助成金額100万円以内（消費税込）
助成率4／5以内（委託費は対象経費の9／10以内）

助成期間 交付決定日から令和4年9月30日まで

対象経費 原材料費、構築物費、機械装置・工具器具費、外注加工費、研究委託費、調査委託費、調査旅費、販路開拓費　ほか

選　　考 書類審査及び専門家等で構成する技術審査会を経て決定します。
申込者は技術審査会で事業説明（プレゼンテーション）を行っていただきます。

採択件数 3件程度

採択通知 令和3年10月上旬に申請者宛に通知予定

備　　考 同一テーマ又は類似テーマで、国、県などの助成事業との併願は可能ですが、本助成事業と重複して助成金を受けることはできません。

第29回『芦原科学賞』の募集について

当財団では、故 芦原義重氏（関西電力名誉会長、香川県名誉県民）からの寄附金を基金として、香川県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的とした「芦原科学支援事業」を実施し、芦原科学賞を授与しております。

第29回目となる芦原科学賞の表彰対象者を募集いたしますので、各企業・団体等の代表者様からの積極的なご推薦・ご応募をお待ちしております。

芦原科学賞の種類と顕彰内容

芦原科学大賞	芦原科学功労賞	芦原科学奨励賞
●賞状と楯の授与 ●賞金200万円の贈呈	●賞状と楯の授与 ●賞金100万円の贈呈	●賞状と楯の授与 ●賞金50万円の贈呈

募集期間 令和3年8月9日（月）～令和3年10月15日（金）

応募資格・応募方法 詳細は後日、当財団ホームページ等でお知らせいたします。

選考方法 書類審査及び外部の有識者、学識者等で構成する委員会を経て、各賞受賞者を決定します。

贈 呈 式 令和4年2月目途
※受賞内定者には、個別にご案内を差し上げます。

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F　TEL.087-840-0338　FAX.087-864-6303

開放特許を経営に活かす!!「知財マッチングセミナー」を開催します

大企業等の開放特許を活用した新商品の開発や新たな事業展開など、知財を活用して企業価値を高め、競争力を強化するためのセミナーです。活用事例を中心に、開放特許をヒントにした新商品の開発企画・アイデア出しについて分かりやすい内容です。11月開催予定の知財マッチング個別面談に関心がある方や開放特許を利用して新製品を開発したい、マッチングに関心はあるが進め方がよくわからない、新たな製品・事業展開のヒントを得たいという方にお勧めです。

受講料は無料ですので、下記問い合わせ先までお気軽にお申し込みください。

開催日	開催場所	テーマ	講師	定員
令和3年 9月15日（水） （13:30～15:30）	香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室	●開放特許活用事例 ●開放特許を活用した新製品企画・アイデア出し 【ビジネスモデル創出】 【デザイン経営につながる未来思考について】	（一社） 発明推進協会 桑原良弘	30名

昨年の開催風景

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15　TEL.087-869-9004　FAX.087-867-9365

知的財産を経営に活かす!!「かがわ知財経営塾」を開催します

昨年の開催風景

知的財産の活用により企業競争力の強化を促進するため、日本弁理士会の協力を得て、知的財産の活用に関心のある経営者(陣)を主な対象として、知的財産の活用について、独立行政法人工業所有権情報・研修館が作成した研修テキスト「ケーススタディで学ぶ!グローバル知財マネジメント」等の事例を題材として、わかりやすい内容でワークショップ形式のセミナーを開催します。今年度は新たなワークショップの事例を用います。

受講料は無料ですので、下記問い合わせ先までお気軽にお申し込みください。受講は申込み先着順ですが、連続して講義を受講される方を優先します。

	開催日	開催場所	テーマ	講師	定員
第1回	令和3年9月29日(水) (13:30～15:30)	香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室	ケーススタディで学ぶ知財マネージメント実践講座 「特許の活用編」	(一社)発明推進協会 桑原 良弘 氏	30名
第2回	令和3年10月7日(木) (13:30～15:30)		ケーススタディで学ぶ知財マネージメント実践講座 「事業企画編」	松島国際特許事務所 弁理士　松島 理 氏	30名
第3回	令和3年10月14日(木) (13:30～15:30)		ケーススタディで学ぶ知財マネージメント実践講座 「営業・提携編」	特許業務法人山内特許事務所 弁理士　山内 康伸 氏	30名
第4回	令和3年10月21日(木) (13:30～15:30)		ケーススタディで学ぶ知財マネージメント実践講座 「製造・販売・事業運営編」	特許業務法人山内特許事務所 弁理士　山内 康伸 氏	30名
第5回	令和3年10月28日(木) (13:30～15:30)		ケーススタディで学ぶ知財マネージメント実践講座 「戦略的活用編」	(一社)発明推進協会 桑原 良弘 氏	30名

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15　TEL.087-869-9004　FAX.087-867-9365

「中小企業等外国出願支援事業」(外国出願補助金)の募集のお知らせ

内　容　中小企業等の外国出願(特許、実用新案、意匠、商標、冒認対策商標)にかかる費用の一部を助成します。

募集期間　**令和3年10月29日まで**(1次募集：終了済、2次募集：7月26日～8月31日、3次募集：9月27日～10月29日)
※募集期間中であっても、予算額に達した時点で受付を終了します。

応募資格　香川県内に主たる事業所を有する中小企業者等で条件を満たす者
※条件については、お問い合わせください。　(当財団ホームページにも掲載しています。)

補助金額　●**補助率：1/2以内**　●**1企業の上限額：300万円(年度内複数案件の場合)**
●**案件ごとの上限額**(●特許出願:150万円　●実用新案、意匠、商標出願:60万円　●冒認対策商標出願:30万円)

対象経費　(消費税は対象外)
●外国特許庁への出願手数料、現地代理人費用、国内代理人費用、翻訳費用
(令和4年2月末日までに実績報告が完了するものに限ります。)
(日本国特許庁への出願に要する経費は対象になりません。)

応募方法　所定の様式の申請書と添付書類をそろえて、以下の提出先に提出してください。
●書類審査及び申請者が申請理由等を説明する審査委員会により採択案件を決定します。

提 出 先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
e-mail：chizai@kagawa-isf.jp
〒761-0301 高松市林町2217-15　香川産業頭脳化センタービル2階

「海外冒認商標係争支援事業費補助金」を募集しています

新設

内　容　県内中小企業等が行う、海外で冒認出願された商標への異議申立てに要する経費の一部を補助します。

募集期間　5月10日から募集を開始しています。　**※予算額に達した時点で受付を終了します。**

応募資格　①県内に本社または主たる事業所を有する中小企業者
②県内に本部または活動の拠点を有する組合、団体等(政治団体、宗教団体を除く)
③①、②が構成員の3分の2以上を占めるグループ

補助率・補助額　●**補助率：1/2以内**　●**1件当たり上限額：25万円以内**

対象経費　(消費税は対象外)　(当財団ホームページに掲載しています。)
●係争対象国・地域の行政機関に支払う手数料、現地代理人費用、国内代理人費用

応募方法　所定の様式の申請書・事業計画書と添付書類を添えて、以下の提出先に提出してください。

提 出 先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
e-mail：chizai@kagawa-isf.jp
〒761-0301 高松市林町2217-15　香川産業頭脳化センタービル2階

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-867-9332　FAX.087-867-9365

令和3年度 高度産業人材育成事業（IT研修）のご案内

当財団では、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」として、地域産業の技術の高度化を支援するため、高度産業人材育成事業を実施しています。その一環として、情報処理技術者等を対象とした、マネジメント系の「プロジェクトの計画とコントロール」、「プロジェクトマネジメント演習」及び「演習を通して学ぶ、デザイン思考・アート思考」、システム上流の「業務分析設計概説」、プログラム系の「JavaScript」及び「Python プログラミング」等のコースを設けたIT研修を行います。多数の方のご参加をお待ちしております。

コース区分	コースNo.	コース名	定員	日数	研修内容	受講料 教材費 （税込）円	受講対象者	日時	会場
マネジメント	❶ プロジェクトマネジメント								
	M011	**「プロジェクトマネジメントの計画とコントロール」** 筑波大学 准教授　木野 泰伸 氏	15	2日	企業・組織・個人の目標を達成するための、プロジェクトマネジメントの方法を体系的に学ぶ。この半世紀に世界で蓄積されてきた「モダンPM」の内容を、具体的に分かりやすく解説する。身近なプロジェクトに使えるようになるのが目的である。	3,000	興味のある方全て	9月2日㈭ 9月3日㈮ 全日9:00～17:00	第3 会議室
	M012	**「プロジェクトマネジメント演習」** 筑波大学 准教授　木野 泰伸 氏	15	3日	だれにでもわかる簡単なケースを用いて、プロジェクトマネジメントを体験的に学ぶ。参加者がチームを編成して事例演習を行うことで、世界共通のモダンPMの進め方が体得できる。	5,000	「プロジェクトの計画とコントロール」を受講している方、もしくは同程度の知識を持っている方。	10月18日㈪ ～20日㈬ 全日9:00～17:00	専門 研修室
	❷ デザイン思考								
	M021	**「演習を通して学ぶ、デザイン思考・アート思考」** 香川大学 創造工学部 教授　大場 晴夫 氏	15	2日	「デザイン」や「アート」いう概念は、一部のクリエイティブな職種の人にしか関係のないものと思われるかもしれないが、実際は、ビジネスやエンジニアリングなど、あらゆる領域で応用され、企業でも導入するケースが増加している。「デザイン思考」や「アート思考」を身につけることで、誰もがユニークな視点で、解くべき課題を発見し、創造的な解決法に一歩近づくことができる。 このワークショップでは、「デザイン思考」や「アート思考」とは何か。どのような手法とプロセスがあるのか、また問題の種類によって適した活用方法などを、実例を通して紹介する。また同時に、鉛筆スケッチなど実際に手を動かす演習を通して（上手に描く必要はありません）、誰もが持っている感性を引き出す訓練を行う。左脳（論理性）と右脳（感性）の両方をバランス良く活用した思考スタイルを身につけ、課題を独自の視点で発見し創造的に解決する力を身につける。	3,000	興味のある方全て	9月9日㈭ 9月10日㈮ 全日9:00～17:00	専門 研修室
システム上流（分析）	❸ 業務分析設計概説								
	E031	**「業務分析設計概説」** **～システム開発における要件定義のまとめ方～** NPO法人 ITCかがわ 会長　中庭 正人 氏 NPO法人 ITCかがわ 理事　塚本 浩二 氏	15	2日	システム開発の上流工程において、全体最適な視点での業務要件、システム要件を導き出す技法を学ぶ。 顧客と関係を構築し、必要な情報を引き出すなど、システム要件に必要なコミュニケーション手法を学ぶ。	受講料 3,000 教材費 別途必要 （未定）	システム開発で顧客要件の定義作業に携わる必要のある方。 前提知識：システム開発工程の全体像に関する知識のある方。	10月開催予定 全日9:00～17:00 （開催日等が決まり次第、改めて募集します。）	（未定）
システム下流（プログラミング）	❹ アプリケーション開発								
	E041	**「JavaScript」** 香川大学 創造工学部 准教授　香川 考司 氏	15	2日	●JavaScriptの概要　●JavaScriptの文法・制御構造・関数　●JavaScriptによるDOMの操作 ●JavaScript API（Ajax,Canvas,WebStorage,…） ●JavaScript上のライブラリー ●ジェネレーター、非同期関数	3,000	何らかの言語でプログラミング経験のある方。 ※パソコンの持ち込みが必要。	9月16日㈭ 9月17日㈮ 全日9:00～17:00	専門 研修室
	E042	**「Python プログラミング」** 香川大学 名誉教授　本田 道夫 氏	15	2日	●PythonとAnaconda ●開発環境 Visual Studio 2019（または2022） ●コマンドプロンプト画面でのPythonの利用 ●Python の言語説明 ●数値、文字列、変数　●リスト、タプル、辞書、集合 ●プログラムの制御構造、関数　●モジュール、パッケージ、プログラム　●クラスとオブジェクト ●ファイル入出力 ●ライブラリの利用 ●グラフ描画　●NumPy ライブラリによる配列操作	3,000	C、C++、C#、Javaなどのプログラミング言語のいずれかを知っていることが望ましい。 ※パソコンの持ち込みが必要。仕様としては、Pythonとライブラリーが豊富なAnacondaなどを入れるため6GB程度の空きがCドライブに必要。	7月15日㈭ 7月16日㈮ 全日9:00～17:00	専門 研修室
ソリューション	❺ 人工知能								
	S051	**「人工知能入門・実践講座」** 早稲田大学 澤田研究室 大学院生 陳 毅文 氏、福地 晴也 氏、山倉 拓也 氏 ※早稲田大学 先進理工学部応用物理学科 教授　澤田秀之 氏	15	2日	受講生の持込みPCにテンソルフローなどの開発環境をインストールし、研修・自主学習を通じて、Deep Learningのプログラミングと活用事例を学ぶ。 ●受講生のPCへのディープラーニング開発環境の設定 ●実際の課題についてのプログラミング　●ニューラルネットワークの原理、数学的基礎、ディープラーニングへの展開に関するレクチャー　●機械学習の事例紹介	3,000	Pythonの基礎知識をお持ちの方。 ※パソコンの持ち込みが必要。	8月26日㈭ 8月27日㈮ 全日9:00～17:00	専門 研修室
	❻ VRコンテンツ制作講座								
	S061	**「VRで何が表現できるのか」** ㈱ジョーソンドキュメンツ 主任　久保田 太郎宇 氏	15	1日	エンタメから産業応用まで幅広い分野で注目されているVR。特に産業分においての納入事例を紹介しながら、VRコンテンツの制作方法について概要を説明する。	3,000	VRに関心があるエンジニア、商品・事業企画担当者	11月開催予定 9:00～17:00 （開催日等が決まり次第、改めて募集します。）	（未定）
	❼ IOT入門講座								
	S071	**「M5StickによるIoT入門講座」** NPO法人 ITCかがわ 会長　中庭 正人 氏 NPO法人 ITCかがわ 会員　岩倉 洋平 氏	12	1日	IoT開発モジュールM5Stick Cを使ったIoT入門講座です。センサーを使って工場のラインの状況や、事務所、店舗等での状況をモニタリングします。 初心者用のビジュアルプログラムツール Blocklyを使って、光センサーによる稼働状況の把握、環境センサーやその他センサーの活用によるセンシング技術を学びます。 ※教材に使用するM5Stick　C等の機材はお持ち帰りいただけます。	受講料 3,000 教材費 5,500	工場のライン、事務所等の見える化に取り組む方。 IoTプログラムに取り組まれる方。	6月25日㈮ 9:00～17:00	専門 研修室

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、開催日程等を変更する場合があります。

【お申込み方法】

- お申込み期限は、受講開始日の原則2週間前までです。先着順にて受付けさせていただきます。
- 各コースとも定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
- 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、e-mailまたは窓口持参にてお申込みください。
  受講申込書は、当財団ホームページ（https://www.kagawa-isf.jp/）から、ダウンロードできます。

※受講申込みが少数の場合（原則として4名以下）、また、講師の都合や悪天候等により、研修が開催できなくなった場合は、中止とさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。その場合は、別途ご連絡申し上げます。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況次第では、延期または中止になる可能性があります。その場合は、財団ホームページにてご案内いたしますので、ご確認をお願いいたします。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9901　FAX.087-869-3710

国際取引相談のご案内

国際ビジネスに精通した経験豊富な専門家が、香川県内に事務所のある企業様・団体様の海外事業展開についてのご質問、ご相談にお答えします。訪問相談はもちろん、インターネット回線を使ったオンライン相談も対応可能です。

国際取引支援アドバイザー

久保 克己 氏

MCP クオリア㈱ 代表取締役。
専門分野は、食料・食品の生産者・製造者・販売者への輸出入を含むマーケティング活動。

国際取引支援アドバイザー

座間 安紀夫 氏

㈱ハートクオリア 代表取締役として経営コンサル事業等に従事。
専門分野は、産業機械、化学品関連（医薬、医療関連を含む）、IT、IoT、AI関連、教育関連。

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 海外展開支援室
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9904　FAX.087-869-3710　E-mail:kokusai@kagawa-isf.jp

機能性表示食品 支援案内

地域共同研究部では、平成27年6月1日に「新機能性表示食品開発相談センター」を設置し、消費者庁へ機能性表示食品の届出申請をする県内事業者の支援を行っています。

センターの設置以降、当部のアドバイザーが届出に必要な資料の収集及び作成を行った届出件数は12件となり、香川県の届出件数の半数を支援しています。（全国の届出件数は4,036件／2021.5.21）

機能性表示食品の届出を検討される事業者様は是非、当センターにご相談ください。

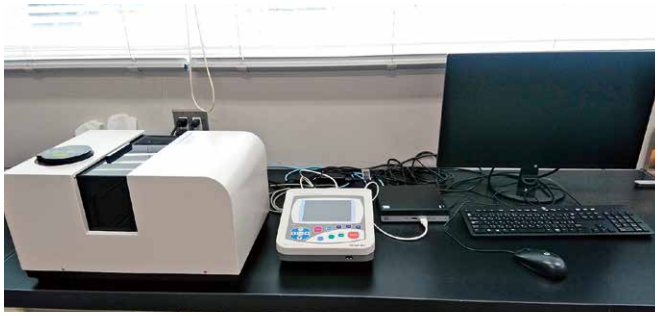
届出申請に係る費用は、以下のとおりです。

基本型	金額（税別）	
SRあり	110万円	【SR】 システマティックレビューの略で、文献をくまなく調査し、そのデータを総括して評価した科学研究（論文）、方法、総説（レビュー）
SRなし	36万円	【その他諸経費】 旅費、分析・試験費、文献購入費等 （その他諸経費は要相談。県又は財団の補助事業も活用できます。）

新規開放設備機器「分光測色計」のご紹介

令和2年度に地域共同研究部で導入した開放機器をご紹介します。

- 機器名　分光測色計
- メーカー　日本電色工業㈱
- 型　式　SD-7000
- 用　途　物体（固体、液体、粉体）の色彩測定・評価
- 性　能　分光反射率・分光透過率の測定、測定波長間隔　5nm（380～780nm）
- 利用料金　200円/時間（税別）　※県外企業は2倍の料金です。



お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部　研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F　E-mail:rist@kagawa-isf.jp　TEL.087-869-3440

令和3年度「かがわ成長する企業大賞」候補企業を募集します！

県では、特徴的な製品やサービスの開発などの優れた取組みにより、成長を続けている県内の中小企業の認知度を高めるとともに、従業員等の意欲の向上を図るため、表彰制度「かがわ成長する企業大賞」を設けています。今年度も、「ものづくり部門」、「商業・サービス部門」、「奨励部門」の各部門において、候補企業を11月30日（火）まで募集しますので、ぜひ御応募（自薦、他薦）ください。

※詳しい内容や応募方法はこちらから➡

【令和2年度「かがわ成長する企業大賞」受賞企業のご紹介】

ものづくり部門：株式会社 FUJIDAN　代表取締役社長 本田 展稔

事業内容

前例のないもの、誰もが見たことのないもの、誰もやろうとしなかったもの、そんな段ボールの枠を超えた「おもしろい」製品を提供しています。その根底にあるのは「おもしろい」をカタチにするデザイン力と設計力。この度受賞しました「かがわ成長する企業大賞」の名に恥じぬよう、「おもしろさ」と「スピード」をスローガンに、従業員一同二歩先の未来に向かって、常に新しいものを生み出していきます。

企業の評価のポイント

受賞企業は、昭和32年に段ボールの製造を開始して以降、売上を順調に拡大させるなど、成長を続けています。また、平成30年には「障害者雇用優良事業所」としての表彰を、令和2年には健康経営優良法人認定制度による認定をそれぞれ受けたほか、災害時における段ボール製品の供給協定を東かがわ市と締結するなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

▲自社YouTubeチャンネル配信中

▲飛沫感染防止
段ボール製間仕切り

▲2016年11月竣工本社工場

商業・サービス部門：さぬき麺業株式会社　代表取締役社長 香川 政明

事業内容

『寝ても覚めてもうどん、麺業三代九十余年』麺の味にこだわり今でも「ゆで麺」以外は全ての麺を「足ふみ製法」で製造しています。お土産用「半生うどん」の開発や、県産小麦「さぬきの夢」を使ったうどんを商業ベースに乗せたほか、環境問題に取り組む「うどん丸ごと循環プロジェクト」にも参画、常に県内の業界を先導すると共にうどん文化継承の為の「手打ちうどん教室」も実施しています。また「年明けうどん大会」など地域貢献活動も熱心に行っています。

企業の評価のポイント

受賞企業は、大正15年に創業、昭和39年に法人化し、さぬきうどんの味を現代に伝えています。家族をターゲットとした「うどんファミリーレストラン」を展開させたほか、近年では首都圏への出店を行うなど、成長を続けています。また、環境問題に取り組む「うどん丸ごと循環プロジェクト」の推進に携わるなど、さぬきうどんを通じて地域にも貢献しています。

◀麺打ち姿

▲代表取締役社長
香川 政明

▼手打ちうどん体験道場入口

奨励部門(※1)：株式会社妙興　代表取締役社長 辻本 宗興

事業内容

これから盆栽を始める方向けに、「はじめる盆栽専門店」としてネット通販を展開しています。盆栽の魅力を全国に発信するために、盆栽情報サイトの運営にも力を入れており、盆栽の認知拡大や愛好家の増加に貢献しています。また、女性を中心に運営しており、従来の盆栽のイメージとは異なる視点での取り組みが評価されています。「盆栽の里」地元香川と日本の伝統文化を後世に伝えていけるよう努めております。

企業の評価のポイント

受賞企業は、ギフト向け盆栽の販売や、盆栽の販売から育て方のサポートまでトータルでのサービスの提供を行うことなどにより、盆栽のネット通販市場で高いシェアを確保するまでに成長しています。また、地元生産者団体と連携した商品開発や、産地や職人の情報、育て方等を総合的に発信するWEBサイトを展開するなど、本県の盆栽の認知度向上に貢献しています。

▲盆栽の手入れ

◀盆栽

▲地元職人を招いて盆栽の社内勉強会

（※1）奨励部門は、上記の2部門の業種のいずれかに該当し、従業員数(パート従業員を含む)が20名程度以下の中小企業者。

お問い合わせ先
香川県商工労働部産業政策課
TEL.087-832-3351　FAX.087-806-0210

かがわ発！元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。今回は、綾川町にある「株式会社富士クリーン」を訪ねました。

2015年からは、香川県の「フォレストマッチング推進事業〜協働の森づくり〜」にも参加。町内の山林にて間伐・枝打ち等の森づくり活動に取り組んでいる

観音寺市内の小学生の施設見学や綾川町内の中学生の体験学習など、社会科見学・環境学習の場として、見学者を広く受け入れている

地域への「感謝」を忘れず アットホームな企業風土を強みに 自分たちにしかできないチャレンジを

収集運搬から最終処分まで一手に 安心して信頼されるビジネスを展開

1975年に創業した株式会社富士クリーンは、廃棄物処理や浄化槽管理等の業務からスタートし、次第に規模を拡大。現在は収集運搬部門、中間処理部門、最終処分部門の３つの部門を持ち、産業・一般廃棄物処理を一貫して行っている。収集運搬から最終処分までを1社で完結するのは全国でも数社しかない。この廃棄物のトータルコーディネートサービスの実現により、信頼性を強められた、と代表取締役専務の馬場太一郎さん。「例えば、取り扱いに注意しなければならない機密情報が入ったパソコンを破棄するとなった場合、適切な初期化を行ったとしても万が一流出することがあれば大問題になります。収集運搬から最終処分まで一貫して請け負っていれば、誰がいつどこにどうやって運んだかが全て明確になり、情報漏洩のリスクが防げます。トータルでお引き受けすることで安心していただけることが一番の強みですね」と話す。

持続可能な開発目標（SDGs）が策定された2015年以降、CO_2の削減、資源の有効活用が環境を守るためには欠かせないものとして積極的に取り組まれるようになった。CO_2削減や資源の有効活用を可能とするのは中間処理施設での取り組みであることから、さらに最新鋭の施設を導入できないかということに。「そこで着目したのが、縦型乾式メタンガス発酵施設でした。どうせ挑戦するなら、日本でだれもやっていないこと、多くの方に使ってもらえるサービスに取り組みたい、それが会社全体の方針でした」。

日本初となる縦型乾式メタン発酵施設を備えたバイオマスプラントを建設した「株式会社富士クリーン」。1975年の創業以来、多くの取引企業にはもちろん、地域の方々からも安心してもらうことに注力し、信頼のおけるビジネスを展開し続けている。その一方で世界の動向をいち早く察知し、時代の先を読みながら自分たちにしかできないことに取り組み、新しい価値を生み出してきた。日本初のごみ処理技術を有した施設をはじめとして新たなチャレンジを続け、我が国の環境ビジネスをけん引する同社の馬場太一郎代表取締役専務にお話を伺った。

2001年、中間処理施設の隣地に最終処分場が完成。「最終処分場については特に地域の理解が必要となります。近隣の方が応援してくださるからこそ一貫した処理が実現しました」

代表取締役専務
馬場 太一郎 氏

株式会社富士クリーン

代 表 者　代表取締役社長　馬場 一雄 氏
所 在 地　綾歌郡綾川町山田下2994-1
電話番号　087-878-3111

https://www.fujicl.com/

見学コース内には、施設全体がわかる模型も置かれ、ガラス越しに廃棄物の投入口や検査室なども見学できる。メタン発酵の仕組みがわかるイラスト付きの説明シートは社員による手描きとか！

日本初の縦型乾式メタン発酵施設 環境の側面から企業価値を見出していく

同社が導入した縦型乾式メタン発酵施設は、家庭ゴミのほか、食品廃棄物、下水汚泥、紙ゴミなど幅広い種類の産業廃棄物に対応できるのが特徴。従来のバイオマスでは受け入れが難しかった乾いた紙類なども水気を含む廃棄物を組み合わせて発酵槽に投入することができる。湿式のデータから乾式は日本ではうまくいかないといわれていたが、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業に選ばれ、2018年から実証運転を開始。生成したメタンガスを社内に熱源供給すると同時に、発酵残さも既存焼却施設の補助燃料として利用している。

「世界に目を向けると、環境に配慮した企業形態でないとステークホルダーの方々に応援していただけません。これまではリサイクルというとペットボトルであれば新たなペットボトルに再利用することが中心でした。燃料ならさまざまな形で活用できる。環境を考えると同時に、廃棄物に新たな価値を見出していく必要性を感じていました」。製造業のように市場のニーズに沿って製品づくりをするのとは違い、出てきたものと対面して、これをどうしていくか考えないといけない業種だ。「０から１をつくるのではなく、１あるものを０に戻す作業をしないといけない。しかもその内容は自分たちで選択できない。そういった現状を踏まえて、今後の環境においてどういったものが必要となるかを考えながら先行投資をしていくことが、産業廃棄物処理業が目指していくべきスタイルだと考えています」と馬場専務は言う。

アットホームな環境で生まれる 自分たちにしかできないことへの挑戦

最新鋭の廃棄物処理を行う同社。コロナ禍以前は、2000～3000名以上が見学に訪れた。環境省をはじめとする関係省庁や海外からの視察も数多くあったというが、教育機関や家族でも訪れてほしいと一般の見学も受け付けている。「どんなに抑制したとしても廃棄物は出てきます。環境を考える際に、必ず必要となるのが廃棄物処理なんです。ですが、環境に関する学部は増えましたが、大学でも産業廃棄処理について教えているところはほとんどありません。だからこそ実際に働いている私たちが、勉強したい、学びたいという人に接していこうと思うんです。生の声を聞いてもらうことで、この業界を目指してくれる学生も増えてきました。夏の自由研究などで子どもと一緒に学ぶことで大人にも必要性を伝えていきたいですね」。見学を受け入れることで、社員にとっても社会貢献を担っている自分の仕事に誇りを持ってほしいという。「社長である父からは、人と同じことをするなと言われ続けてきました。組織人を作るのではなく、自分のしたいことをやる人たちが増えていけばいい」。家族のようなアットホームさも同社の特長。一人ひとりの声を大切にし、自分たちに何ができるかを社員とともに考えている。同時に「地域の方にご理解いただけているからこそ」と創業以来、「感謝」を社訓として掲げ、さまざまな地域貢献にも取り組んでいる。

これからも常に一歩先を見つめながら、自分たちにしかできないことに挑み続けていく。

廃棄物を加工して産業用固形燃料へと再生する専用プラントと再生された固形燃料

縦型乾式メタン発酵施設などを組み合わせた最新鋭のバイオプラント。生成されたバイオガスは事務所入り口に置かれた電光パネルで確認できる

令和3年度 起業等スタートアップ支援補助金の2次募集を開始しました！

県内で創業等を行う者に対し、その創業等に必要な経費の一部を補助します。

区分	情報通信産業型	地域課題解決型
補助対象事業	情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業（新聞業及び出版業は除く。）、デザイン業（ただし、これらの管理業務のみを行う事業は除く。）	地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして、地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、地域の課題の解決に資する事業
補助上限金額（補助率）	200万円以内（2／3以内）	200万円以内（1／2以内）
補助対象者	県内における創業者等	
補助対象経費	人件費、事業費、委託費	
募集期間	令和3年6月22日（火）～7月21日（水）17:00必着	

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15　TEL 087-840-0391　FAX 087-869-3710
詳細はかがわ産業支援財団のHPをご覧ください。 https://www.kagawa-isf.jp/

入居者募集のお知らせ

ネクスト香川

●インキュベート工房

❶一般型

入居資格：創業後5年以内または新事業進出等で研究開発を行う者等
入居期間：3年間（最長13年間）
部 屋 数：10室（約64～137㎡）、空き1室
使 用 料：1,560円/㎡（5年以内）
　　1,870円/㎡（5年超）
光 熱 費：実費
そ の 他：無料駐車場2～4台

❷情報通信型（令和2年11月開設）

入居資格：創業後5年以内の情報処理関連事業を営む者等
入居期間：3年間（最長5年間）
部 屋 数：4室（約13～29㎡）、空き2室
使 用 料：1,560円/㎡
光 熱 費：実費
そ の 他：無料駐車場1台
　　インターネット無料接続

香川産業頭脳化センタービル

●ITスクエア

ITを活用した事業の起業、新分野進出などの拠点となるスモールオフィス。賃料に光熱費等込みで、非常に経済的です。

入居資格：創業5年以内または新分野進出を目指す企業等
入居期間：最長5年間
部 屋 数：11室（約6.5㎡）、空き6室
賃　　料：20,950円/月（学生15,710円）
そ の 他：賃料は、駐車場1台、インターネット回線料、光熱費込み

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 施設管理課
高松市林町2217-15　TEL.087-869-3700　https://www.kagawa-isf.jp/

総務部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL（087）840-0348　FAX（087）869-3710
施設管理課
TEL（087）869-3700　FAX（087）869-3703
企画情報課
TEL（087）868-9901　FAX（087）869-3710
ファンド事業推進課
TEL（087）868-9903　FAX（087）869-3710

企業振興部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL（087）840-0391　FAX（087）869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL（087）868-9904　FAX（087）869-3710

技術振興部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階
産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL（087）840-0338　FAX（087）864-6303

地域共同研究部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階
研究管理課・研究開発課
TEL（087）869-3440　FAX（087）869-3441

知的財産支援部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL（087）867-9332　FAX（087）867-9365
知的財産普及課
TEL（087）869-9004　FAX（087）867-9365

この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。　印刷：香川印刷株式会社